

3年ぶり、小・中学校から卒業式への招待状



日本共産党議員団  
2023.3.9.No.1919.  
御相談はお気軽に  
TEL とも 3905-0970  
FAX とも 3905-0970  
さからとしこ事務所  
赤羽北3-23-17  
(バス停「赤羽北3丁目」メガシティ付近)

# (仮称) 北区子ども条例制定

●北区は、貧困やいじめ、虐待など、子どもをとりまく今日的な課題に対し、すべての子どもが誰れひとり取り残されることなく、将来への希望をもって、心身ともに健やかに成長できるように、**2024年3月を目途に** 条例を制定すると、3月1日に開かれた文教子ども委員会で報告しました。

## 子どもたちの意見、さまざまな形で

●教育委員会は、昨年7月から今年にかけて、中学生モニター会議、小中学生との区政を話し合う会、GIGAスクール端末を活用したアンケートなどを実施。その結果を、3回の子ども・子育て会議で報告した。

## 条例の名称には「権利」を「子どもの意見表明権」をきちんと...

- 子ども・子育て会議では、意見や要望が出されていた。
- 私もこれまで、さまざまな機会に子どもの意見表明の場を求めてきました。



2023.4.25



やさしさめぐる  
すみよい街を  
こどもたちとともに

よびかける  
はしもとやすこさん  
子どもの居場所ヒロノッキオ  
子ども食堂など多彩な活動

新年度予算  
ドナルド・キーン氏の生誕百周年記念事業  
北區ゆかりの文化人 日本文化と日本文学研究の世界的権威

私は、北区中央図書館のコレクションコーナーで拝見した蔵書のなかに、細かな書き込みがあることを発見して、とても身近に感じ、感動したことが忘れられません。

## 7000冊の蔵書整理・調査プロジェクト

新年度、北区ゆかりの文化人、日本文化と日本文学研究者の世界的権威、ドナルド・キーン氏の生誕100周年記念事業が予算化されました。

昨年7月、北区はドナルド・キーン記念財団と東洋大学と「ドナルド・キーン氏蔵書整理・調査プロジェクトに関する協定」を結び、7000冊に及ぶ蔵書の整理、分類、リスト化がおこなわれています。

## 膨大な作業に挑戦した東洋大の学生さん

このプロジェクトでは、東洋大学の学生の皆さんが大きな力を発揮。蔵書の整理とリスト化作業への学内公募には106名が応募。その内19名の学生がローテーションを組んで、この膨大な作業へ挑戦されたとのこと。きっと、感動や発見がたくさんあったことでしょう。大切な宝もの

北区の大切な宝もの、財産として生かし、若い世代へと引き継ぎ、世界中の皆さんにこの宝物が発信されてゆくことになります。楽しみですね。

私が最近手にした、ドナルド・キーン氏と養子のキーン・誠己(せいぎ)さんとのエッセイ集、『黄犬・キーン ダイアリー』(2014年7月6日に書かれた、69年前の手紙から)の一文を紹介します。

「反戦主義者の私が通訳士官となった理由の一つが、何か特別な情報を手入して、一日でも早く戦争を終らせようという思いだった。それはついぞ果たせなかったが、平和への思いは絶えることなく、日本人となった今も続いている。

戦後、日本人は1人も戦死していない。素晴らしいことだ。不戦を誓う憲法9条のおかげであり、世界が見習うべき精神である。・・・」

さらに、「私は戦争体験者として、国際問題の解決には軍事行動を取るべきではないと思っている。遺体が無造作に転がる戦場に立てば、その悲惨さ、むなしさは明らかだ。それに、日本にふさわしい平和的な国際貢献の方策はいくらでもある。」



# 日米一体敵基地攻撃の危険

## あらゆる情報、射撃システムも共有

日本共産党の山添拓議員は6日の参院予算委員会で、「ミサイル防衛」と敵基地攻撃が一体となった「統合防空ミサイル防衛（IAMD）」の運用について、米軍が日本を含む同盟国のあらゆる情報や射撃システムまで一つに統合し、先制攻撃を含む敵基地攻撃を一体で行う危険を明らかにしました。

↓質問詳報略

同盟国間で共有するシステムを提案していると指摘。さらに、政府の安保3文書の一つである「国家防衛戦略」では、IAMDについて「ネットワークを通じて各種センサー・シューターを一元的かつ最適に運用できる体制を確立」している

と明記（図）しており、「政府は日米のIAMDは全く別物と言うが、言葉までうり二つだ」と強調しました。

### 参院予算委 山添氏が追及

山添氏は、米軍が2011年「ク構造」として、警戒情報に公表した「IAMD 報（センサー）だけでなく、構想2028」で「あらゆるセンサー、シューターシステム（シューター）まで活用できるネットワーク」を提議していることを追及した。



質問する山添拓議員（6日、参院予算委）

**米インド太平洋軍「IAMD 構想2028」**  
「すべての同盟国やパートナー国が共有でき、2国間での空域防衛計画に代わって、脅威を阻止するために、“あらゆるセンサー、シューター”を活用できるネットワーク構造を提案する」

**安保関連3文書**  
「ネットワークを通じて各種センサー・シューターを一元的かつ最適に運用できる体制を確立し、統合防空ミサイル防衛能力を強化する」

出典：米空軍機関誌「航空宇宙作戦レビュー」2022年夏第1巻2号掲載論文「USINDOPACOM's IAMD Vision 2028」および2022年12月16日閣議決定「国家防衛戦略」から山添拓事務所作成

さらに今年1月の日米安全保障協議委員会（2プラス2）の共同声明で、日本の敵基地攻撃能力の「効果的な運用」に向けた日米間の協力深化を確認したことに言及し、「IAMDで日米のセンサーやミサイルを統合し、米軍主導で運用を進めていくものではないか」とたずねました。

浜田靖一防衛相は、「日米が連携することは重要」と認めつつ、「それぞれの指揮系統に従って行動する」と強調しました。

これに対して山添氏は、バイデン米政権が昨年10月に公表した「ミサイル防衛の見直し（MDR）」で同盟国に対し、米国との相互運用が可能となるよう自国のIAMDシステムへの投資を奨励していることを指摘。さらに、「IAMD構想2028」は、米国でさえ、単独でIAMD構想の実行は不可能だとしていることをあげ、「日本が独自にシステムを構築するなど荒唐無稽だ」と批判しました。

### 核禁条約批准 廃絶の先頭に立て 署名109万人超を提出

被爆者団体は3月7日、岸田首相に署名を提出した。

### 秋山けんたろう 2023. 3. 7. レポート

日本は、広島、長崎、そして太平洋ピキニ環礁での第五福竜丸の被爆と、3度の被爆体験を持つ国です。わたしは3月1日、「ピキニデー」として毎年、静岡県焼津市で行われている墓前祭と集会に参加しました。船長だった久保山愛吉さんの眠る弘徳院には、「原水爆の犠牲者はわたしを最後にしてほしい」という言葉が石碑に刻まれている、私の胸にせまってきました。広島出身の岸田首相はなぜ、被爆者の声を聞こうとしないのか。大軍拡の道は、本当に危険です。「戦争か平和か」その岐路に立たされています。どう考えても、平和の方が絶対がいい。「核兵器は廃絶」「戦争はNO!」この声を、急いで、大きく広げて行かなければと、強く感じた、墓前祭と集会の一日でした。全国から同世代も参加していて、メール交換もできました。

2023. 3. 9. 「さがらレポート」NO.1919.

ただ今年度の予算審査中。積みあがった基金を活用し、区民の応援と提案がら。